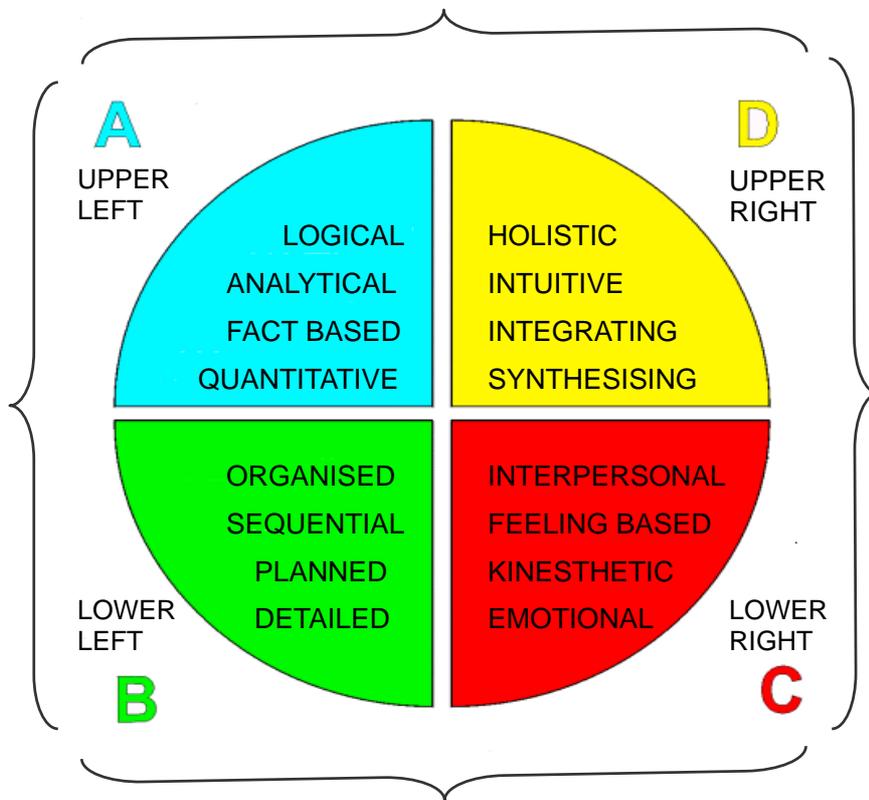




Herrmann International Japan

Whole Brain Team Building Workbook



この文書はあらかじめ株式会社ハーマン・インターナショナル・ジャパンからの書面による同意なく、その全部または一部を問わず、複製、写真複写、複写、翻訳または電子媒体または機械による読み取り可能な形態に変換することを禁じられています。

©株式会社ハーマン・インターナショナル・ジャパン 2006

目 次

1 . ホールブレイン チームビルディング	1
(1) ハイパフォーマンスチームの特徴	
(2) 創造的チームの生産性	
(3) 異質なチーム	
(4) ブレインパワーの発揮	
(5) 各象限の得意技例	
(6) チーム・組織のプロフィール	
(7) クリエイティブプロセス	
(8) クリエイティブなチームの原則	
(9) ブレークスルーアイデアの発生率	
(10) 高いコミュニケーションスキル	
(11) チームのミッションのプロフィール	
(12) ミッションに合ったリーダーシップスタイル	
(13) すべての ” グループ “ が ” チーム “ ではない : 両者の違いは	
2 . 演習 1	8
■ 「気づき記入シート」	
■ 仕事内容のチェックリスト	
■ チームへの貢献	
3 . 演習 2 チームワークレベル診断シート	12
4 . 演習 3 チームパフォーマンス向上への提案	13



演習 1 「気づき」記入シート

氏 名 _____

本日の研修を通じて気づいたことを以下に記入してください。

1. 自己認識

(1) 自己の思考の好み、振る舞い、行動特性について

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

(2) 仕事及び能力発揮の面での自己の強みと今後能力を向上させたい点
(添付の各象限別「仕事内容のチェックリスト」を参照)

強み

.....
.....
.....
.....
.....
.....

能力向上

.....
.....
.....
.....
.....
.....



「気づき」記入シート

2. コミュニケーション及びチームのパフォーマンス向上

(1) 自己のコミュニケーションの仕方の特徴及び今後改善したい点

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(2) チームの活性化・パフォーマンス向上の為に、仕事及び能力発揮の面での自己の強みと今後能力を向上させたい点
(添付の各象限別「チームへの貢献」を参照)

得意技

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

能力向上

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

仕事内容のチェックリスト

あなたの仕事の内容で得意なものには、改善を要するものには✓をつけてください。

<p style="text-align: center;">A</p> <p>事実の収集 数字、統計、データを扱う パフォーマンスを測定し、傾向を把握する 正確に測定する 技術的側面を理解する 機械、電気、その他を作動させる 問題点を明確化し、問題を識別する 問題を論理的に分析し、解決する 財務分析し、意思決定する 合理的に討議し、理路整然と話を ゴールと目標を設定し、達成する</p>	<p style="text-align: center;">D</p> <p>国及び世界のトレンドに通じている 来るべき変化の端緒を読み取る 新しいアイデアやコンセプトに基づいて仕事をする 環境への影響を理解する 問題への革新的なソリューションを発明する 実験する機会を開発する 競合がもたらすものを予測する 確立された方針に挑戦する 新しいアイデアを売る 直観的に問題を解決する ビジョンと長期戦略を開発する</p>
<p style="text-align: center;">B</p> <p>詳細な計画と手順に従って仕事をする 順序だてて明確な計画をたてる 方針、手順、規則に従って仕事をする 財務その他の情報を系統化する 書類の細かな文字を理解する 見落とされた欠点を見つけ訂正する 一貫した水準を維持する 最高レベルの品質と完成度を追求する 問題に実践的にアプローチする リスクを最小限にする 時間通りに実行してもらう</p>	<p style="text-align: center;">C</p> <p>個人、グループに仕事をしてもらう 顧客と良い関係を開発する チーム活動に積極的に参加する 説得し調停する 対人関係の問題を処理する 人がどう感じるかを直感的に予測する 熱意と動機づけを生み出す 感情を表明し、分かち合う 声やボディランゲージ等非言語のサインに気づく 人の話を良く聞く コーチング・カウンセリングを行い、教育・訓練する</p>

チームへの貢献

あなたがチームパフォーマンス向上に貢献出来る得意技に、改善を要するものには
✓をつけてください。

<p>A “このケースの理論は何か”</p> <p>ゴールと目標を定義 論理的な問題解決 批判的な分析と理論 効率、コスト及びデータ 定量的な結果を目指して働く</p> <p>“ビジネスへのこだわり”</p>	<p style="text-align: right;">“現状に対する挑戦” D</p> <p>戦略を考え将来を見透す リスクをとり実験する コンセプトを結合し連結する ニューアイデアと解決策をブレイン ストーミングする 全体像を視野に入れる</p> <p>“ブレークスルー思考”</p>
<p>“クロージングに向けて働く”</p> <p>ディテール及び手順に関心を払う ポイントAからポイントBへ動く (段階を踏んで) タスクの割当、組織、計画 フォローアップとタイムリーな スケジューリング 全てが秩序とコントロール下にある ことを確認</p> <p>B “如何にして実現させるか?”</p>	<p>“コミュニティ精神を高める”</p> <p>調整し、促進させる シェアし、傾聴し、表現する 協力し、関係を強化する 水面下の問題を本能的に感じとる 他の人のニーズに感性をもつ</p> <p>“チームの一員として行動” C</p>

演習 2 チームワークレベル診断シート

あなたが属している職場、プロジェクト等のチームについて自己診断して下さい。

G (グループ)	G の 傾 向 が 強 い や や G の 傾 向 が 強 い や や T の 傾 向 が 強 い T の 傾 向 が 強 い	T (チーム)
1. 強力で明確なフォーカスを持ったリーダー	1 2 3 4	リーダーシップの役割共有
2. 個人別説明責任 (accountability)	1 2 3 4	個人及び相互的説明責任 (accountability)
3. そのグループの目的はより大きな組織のミッションと同じ	1 2 3 4	そのチーム自身が達成すべきチーム固有の目的を持っている
4. 個人別成果物	1 2 3 4	集団としての成果物
5. 効率性を重んじる ミーティング運営	1 2 3 4	終わりを決めない自由な討議と活発な問題解決ミーティングを奨励
6. 成果を他の指標(例えばビジネスの財務的成果)に対する影響により間接的に測定	1 2 3 4	チームの集団としての成果物を評価 (assessing) することにより直接パフォーマンスを測定
7. 討議し、決定し、そして権限委譲する	1 2 3 4	討議し、決定し、仕事を協働する
1 - 7 に○をつけた数の合計	1 2 3 4	スコア計算

スコア計算例) 1が4コ2が2コ3が1コの場合 (1×4)+(2×2)+(3×1)=11		

演習3 チームパフォーマンス向上への提案

本日の研修を通してのラーニング、気づきをもとにチームパフォーマンスを向上させる為の提案をつくり、発表して下さい。

<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームのミッションの定義 ・成果の評価方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレークスルー思考により現状に挑戦 ・クリエイティブなチームワークのコンセプトづくり <p>D</p>
<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの役割分担 ・実行プラン作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内外の顧客満足 ・実行プランの社内合意の形成 <p>C</p>